

令和3年度 会 務 報 告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

月	運営委員会・常任幹事会	委員会	地域・職域等同窓会	同窓会・学校関連行事等
令和 3年 4月	10 (土) 運営委員会 19 (水) 会計監査 25 (日) 常任幹事会	10 (土) 榿友祭実行委員会 (オンライン) 11 (日) 総務委員会		1 (木) 史料館公開 (新着任教職員) 6 (火) 第76回年度入学式、史料館公開 7 (水) 史料館公開 (新入生) 9 (金) 史料館公開 (新入生)
5月	8 (土) 運営委員会	4 (火) 総務委員会 8 (土) 榿友祭実行委員会	15 (土) 湯河原地区小田高会	
		9 (日) 榿友祭 (ホームカミングデー)・定期総会		
6月	5 (土) 運営委員会	27 (日) 史料委員会		5 (土) 「がんばれ!小田高」応援基金運営委員会 20 (日) 第11回小田高自然環境フォーラム 21 (月) 史料館公開 (定時制生徒)
7月	17 (土) 運営委員会	21 (水) 総務委員会		17 (土) 「がんばれ!小田高」応援基金運営委員会 17 (土) 史料館公開 (PTA役員) 19 (月) 史料館公開 (PTA役員)
8月				
9月	4 (土) 運営委員会	4 (土) 総務委員会 25 (土) 榿友祭実行委員会 (オンライン)		17 (金) 史料館公開 (定時制生徒)

10月	2 (土) 運営委員会	3 (日) 総務委員会 16 (土) 広報委員会 17 (日) 史料委員会 23 (土) 榿友祭実行委員会 (オンライン) 28 (木) 広報委員会		2 (土) 「がんばれ！小田高」応援基金運営委員会 23 (土) 史料館公開 (学校説明会) 27 (水) 史料館公開 (小田高カミングデー) 28 (木) 史料館公開 (小田高カミングデー) 30 (土) 史料館公開 (PTA講演会)
11月	13 (土) 運営委員会	6 (土) 広報委員会 14 (日) 広報委員会 18 (木) 広報委員会 26 (金) 総務委員会 27 (土) 榿友祭実行委員会 (オンライン)		6 (土) 榿友ウォーク 13 (土) 「がんばれ！小田高」応援基金運営委員会 20 (土) 校史資料研究協議会
12月	11 (土) 運営委員会	7 (火) 総務委員会 10 (金) 会報「八幡山」第33号発行 18 (土) 榿友祭実行委員会 (オンライン)		4 (土) 史料館公開 (学校説明会) 11 (土) 「がんばれ！小田高」応援基金運営委員会
4年 1月	8 (土) 運営委員会	6 (木) 総務委員会 15 (土) 榿友祭実行委員会 (オンライン) 15 (土) 史料委員会		8 (土) 「がんばれ！小田高」応援基金運営委員会
2月	5 (土) 運営委員会 (書面開催)	14 (月) 総務委員会 19 (土) 榿友祭実行委員会 (オンライン)		
3月	5 (土) 運営委員会	11 (金) 総務委員会 12 (土) 榿友祭実行委員会 (オンライン)		4 (金) 3年度同窓会入会式 (第74回) 5 (土) 第74回卒業式

令和3年度小田原高等学校同窓会樫友会 事業報告（案）

1 活動目標

令和3年度の活動目標として掲げた項目及びその結果は次のとおりである。

(1) 創立百二十周年事業の成果を発展

一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の感染状況が厳しい中で、感染予防に最大限の配慮をしながら、創立百二十周年記念事業として、学校、PTA、同窓会の3者で実行委員会を組織し、中等教育史料館の開設、バーチャル記念式典の実施等に取り組んだ成果を発展させるため、中等教育史料館の更なる充実に向け、同じ南館に設置されている窓梅会資料室の同時公開等の連携への働きかけ等に努めた。

(2) 同窓会事業への会員参加の促進

「親睦事業・会費検討会」の答申を受け、新たに取り組みを始めた各種事業の一層の充実を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の感染予防措置を継続しながら、樫友祭の企画に当たっての担当の同期会の協力を得たほか、各種事業の企画にも、学年同期会や地域・職域等同窓会の幅広い会員の参加を呼び掛け、事業の着実な推進に努めた。

2 委員会の活動

(1) 総務委員会

ア 令和3年4月新生生に入学記念品（小田高歌集CD）を配付した。

イ 樫友祭において、「活躍する同窓生」（経済界篇）の展示を行うとともに、オリジナルグッズの販売、同窓会活動の紹介冊子を配布した。

ウ 令和4年3月卒業生（高74回）に同窓会入会用案内パンフレットを作成し、配付した。

エ 令和4年3月卒業生（高74回）に卒業記念品を贈呈した。

オ 会員名簿情報（住所変更、物故者、新会員登録、教職員異動など）を随時更新した。

カ 会員管理ソフト「幹事長」のデータを更新し、同期会への住所情報支援等に活用した。

(2) 交流委員会

ア 令和3年度樫友祭（小田高ホームカミングデー）の開催

○ 新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置が発令された状況の中、感染防止策を徹底し、5月9日（日）に開催した。

○ 積極的な広報を控えざるをえなかったことから、来場者は関係者を中心に138名であったが、総会及び高23回同期会が企画した八幡山トーク等主要3催事をビデオ収録し、樫友会ホームページ及び樫友祭ホームページに掲載し、見える形で記録を残した。

イ 会員の親睦を深める下記交流事業を、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を徹底しながら実施した。

○ 「第 11 回自然環境フォーラム」

6 月 20 日（日）に小田原高校視聴覚室で開催した。

○ 「樫友ウォーク」

11 月 6 日（日）に「大磯に住んだ 8 人の宰相たち」をテーマに実施した。

ウ 現役生徒を応援する事業は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止した。

エ 令和 4 年度樫友祭（小田高ホームカミングデー）の企画、準備を進めた。

(3) 広報委員会

ア 会報「八幡山」33 号を 12 月に発行し、会報が届いていない会員のために、会員通信や個人情報の係るものを除き、同窓会ホームページに掲載した。また、会報「八幡山」33 号に 8 件の広告を掲載し、同窓会の財源確保に努めた。

イ 同窓会ホームページを活用し、同窓会活動の周知、参加呼び掛けの手段として活用した。

ウ ホームページを会員及び会員相互の情報発信の場としての利用をより一層促進した。

エ 樫友祭の開催を多くの会員に告知することを目的に、樫友祭フェイスブックページを活用し、樫友会のホームページと合わせ、広報の充実を図った。

(4) 史料委員会

ア 小田原高校中等教育史料館の公開

○ 利用機会を拡大するため、事前予約制により平日、休日とも見学できるようにした。

○ 保護者の見学機会を増やすため、PTA 会長と相談し、PTA の実行委員会と広報委員会が見学した。

○ 定時制の総合的な探究の時間で、定時制の生徒が初めて見学した。

○ 史料館前の廊下に画廊が整備されたことから、絵画と活躍する同窓生のパネルを展示した。

○ 窓梅会と連携し、史料館の定例公開時に窓梅会資料室を同時公開した。

イ 史料館の整備

○ 屋外の案内表示と立て看板を「小田原高校中等教育史料館」に改めた。

○ 平成 24 年度まで続いた雨漏りにより汚損した教材展示室等の天井板を取替えた。

○ 図書展示室と史料館画廊の蛍光灯を LED に取替えた。

ウ 史料の保存・活用

○ 大量に保管されていた未整理史料の整理・保存を開始した。

○ 松枯れにより伐採された閑院宮御手植え松（卒業記念）の幹を展示品として加工・保存した。

○ 生物教材室、教材展示室、図書展示室、収蔵庫の防虫剤を取替えた。

○ 生物標本群の絶滅危惧種等約 50 点にキャプションをつけ、そのうち 6 点をクリーニング・補修して展示した。

エ 校史資料研究協議会

展示室運営や史料保存のため、意見交換を行った。

(5) 校歌祭委員会

第16回青春かながわ校歌祭は、10月2日（土）に鶴見高校鶴陵会が実行委員長となり、大和市文化創造拠点シリウスで開催が計画されていたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、中止となった。

3 その他

(1) 小田高祭への参加

令和3年6月に開催が計画されていたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、中止となった。

(2) 女性の役員登用について、各種役員に女性が参加するように呼びかけてきたところ、委員会等に徐々に増えつつある。

(3) 事務局員の複数化に向けた取り組みを進めた。

神奈川県立小田原高等学校同窓会

令和3年度一般会計決算書

自：令和3年4月 1日

至：令和4年3月31日

(単位：円)

項・目	当初予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	説明
前期繰越資金(ア)	3,495,264	3,495,264	0	前年度からの繰越
収入の部				
1 入会金	1,585,000	1,580,000	△5,000	
1 新卒者入会金	1,580,000	1,580,000	0	同窓会入会金316名
2 中途者入会金	5,000	0	△5,000	
2 会費	6,285,000	6,430,000	145,000	
1 年会費	3,900,000	4,000,000	100,000	年会費1,408名
2 終身会費	2,385,000	2,430,000	45,000	終身会費810名分
3 寄付金	10,000	0	△10,000	
4 負担金収入	0	0	0	
5 広告料等収入	150,000	315,000	165,000	同窓会会報広告料等22件
6 雑収入	10,736	40,849	30,113	記念史等売払い代、利息
7 繰入金	0	0	0	
収入計(イ)	8,040,736	8,365,849	325,113	
合計(ア)+(イ)	11,536,000	11,861,113	325,113	

項・目	当初予算額(A)	決算額(B)	増減額(A-B)	説明
支出の部				
1 事務費	1,145,000	852,632	292,368	
1 事務局費	480,000	365,682	114,318	事務局運営経費
2 常任幹事会費	180,000	85,078	94,922	常任幹事会経費
3 校内幹事費	10,000	0	10,000	校内幹事活動経費
4 会員連絡費	20,000	13,480	6,520	会員連絡経費
5 渉外費	80,000	60,000	20,000	慶弔費、慰労金
6 消耗備品費	90,000	51,617	38,383	事務用消耗品代
7 雑費(振込手数料)	285,000	276,775	8,225	会費等振込手数料
2 事業費	6,891,000	5,723,212	1,167,788	
1 樫友祭・総会費	800,000	695,788	104,212	樫友祭、総会経費
2 入会記念品費	420,000	464,100	△44,100	同窓会入会記念品代
3 総務委員会費	413,000	142,802	270,198	総務委員会経費
4 交流委員会費	320,000	250,261	69,739	交流委員会経費、交流事業経費
5 広報委員会費	70,000	6,013	63,987	広報委員会経費
6 史料委員会費	70,000	65,031	4,969	史料委員会経費
7 校歌祭委員会費	60,000	7,000	53,000	校歌祭参加経費
8 会報発行費	3,700,000	3,481,519	218,481	同窓会報33号印刷・発送代
9 広報費	270,000	249,278	20,722	同窓会ホームページ管理費
10 地域職域同窓会費	258,000	2,000	256,000	地域職域同窓会参加費
11 同期会結成補助費	150,000	0	150,000	同期会結成費補助金
12 中等教育史料館費	360,000	359,420	580	中等教育史料館運営経費
3 教育費	600,000	429,660	170,340	
1 教育活動費	520,000	330,000	190,000	運動部等大会参加激励金
2 学校援助費	80,000	99,660	△19,660	学校支援費、ピアノ調律代
4 積立金	2,600,000	2,600,000	0	
1 記念事業積立金	200,000	200,000	0	記念事業積立金
2 予算調整積立金	2,400,000	2,400,000	0	予算調整積立金
5 予備費	300,000	0	300,000	
1 予備費	300,000	0	300,000	
支出計(ウ)	11,536,000	9,605,504	1,930,496	
当期収支差額(イ)-(ウ)	-	△1,239,655	-	

前期繰越資金(ア)	収入計(イ)	支出計(ウ)	次期繰越資金
3,495,264	8,365,849	9,605,504	2,255,609

上記について、収入・支出伝票、帳簿、通帳を監査しましたところ、正確であることを認めます。

令和4年4月14日

神奈川県立小田原高等学校同窓会 会計監査 室伏 創之 ㊞

神奈川県立小田原高等学校同窓会 会計監査 田村 佳江 ㊞

※ 原本は、事務局で保管しています。

神奈川県立小田原高等学校同窓会
財産台帳

自：令和3年4月 1日

至：令和4年3月31日

【基本金・積立金】

(単位：円)

資産の種類	預貯金名	期首残高	増減額	期末残高
1 基本金	横浜銀行 積立定期預金	11,531,869	195	11,532,064
	さがみ信用金庫 積立定期預金	13,446,149	1,139	13,447,288
2 記念事業積立金	横浜銀行 積立定期預金	891,044	200,009	1,091,053
3 予算調整積立金	さがみ信用金庫 普通預金	700,000	2,400,006	3,100,006
合 計		26,569,062	2,601,349	29,170,411
増減額の内訳		増の内訳 ・預金利息 1,349 (基本金：1,334、積立金：15) ・記念事業積立金の積み増し 200,000 ・予算調整積立金の新規積み立て 2,400,000		

【保管金】

(単位：円)

資産の種類	預貯金名等	期首残高	期末残高	
3 保管金	横浜銀行口座	入会金	1,580,000	1,565,000
		年会費	1,724,810	1,783,530
		その他	0	0
		計	3,304,810	3,348,530
	郵便局振替口座	年会費	1,378,751	1,381,565
		終身会費	11,213,924	11,106,647
		その他	0	0
		計	12,592,675	12,488,212
	ゆうちょ銀行口座	—	3,376,103	2,201,077
	小口資金(現金)	—	119,161	54,532
		計	3,495,264	2,255,609
	合 計		19,392,749	18,092,351
	残高の内訳		前期前受金	当期前受金
15,897,485			15,836,742	
		一般会計前期繰越資金	一般会計次期繰越資金	
		3,495,264	2,255,609	

【基本金・積立金・保管金】

(単位：円)

合 計	45,961,811	47,262,762
-----	------------	------------

注) 一般会計では、現金預金から次年度前受分を差し引いた金額を「資金」として取り扱っている。

上記について、預貯金通帳、証書等を監査しましたところ、正確であることを認めます。

令和4年4月14日

神奈川県立小田原高等学校同窓会 会計監査 室伏 創之 ㊞

神奈川県立小田原高等学校同窓会 会計監査 田村 佳江 ㊞

※ 原本は、事務局で保管しています。

令和4年度小田原高等学校同窓会榿友会 事業計画（案）

1 活動目標

(1) コロナ禍での同窓会事業の積極的な取り組み

同窓会榿友会は、コロナ禍にあっても、感染対策をしっかりと行いながら、学校、PTA等の協力・連携のもとで、引き続き、総会をはじめ、榿友祭（ホームカミングデー）、自然環境フォーラム、榿友ウォークなどの諸活動や広報、史料の収集・保存・利用・展示、校歌祭への参加など、同窓会事業を着実に実施する。また、「活躍する卒業生」の企画について、その人材の発掘に取り組むとともに、活躍する姿を紹介するほか、講演会等へ招へいするなど、充実強化策を検討する。

(2) 同窓会事業への会員参加の促進

学年同期会や地域・職域等同窓会の協力を得ながら、同窓生のネットワークを広げ、各種事業の企画に参加を呼びかける。また、明治以降の中等教育史料を展示している小田原高校中等教育史料館、窓梅会資料室の公開の充実と更なるPRに、同窓会窓梅会とも連携しながら努める。

2 委員会の活動

(1) 総務委員会

- ア 令和4年4月新生に入学記念品（小田高歌集QRコード付）を配付する。
- イ 令和4年5月榿友祭において、小冊子「八幡山」を配布するとともに、「活躍する同窓生」のパネル展示を実施する。
- ウ 令和5年3月卒業生（高75回）の同窓会入会用パンフレットを配付する。
- エ 令和5年3月卒業生（高75回）に卒業記念品を贈呈する。
- オ 同期会を結成した卒回に対し、同期会結成補助金を交付する。
- カ 会員名簿情報（住所変更、物故者、新会員登録、教職員異動など）を随時更新する。
- キ 会員管理ソフト「幹事長」のデータを更新し、同期会への住所情報支援等の利便性の継続を図る。

(2) 交流委員会

ア 令和4年度榿友祭（小田高ホームカミングデー）の実施

実行委員会を組織・運営し、十分なコロナウイルス感染症の防止対策を徹底し、八幡山トーク、八幡山コンサート、創立百二十周年記念グッズの販売などを内容として、5月8日（日）に開催する。

イ 会員の親睦を深める交流事業の実施

- 「第12回自然環境フォーラム」を6月26日（日）に小田原高校視聴覚室で開催する。
- 「榿友ウォーク」
第9回 4月30日（土）

第10回 令和4年11月

第11回 令和5年3月

○ 榿友セミナー

卒業生による講演会を企画する。(オンライン開催を含めて検討)

ウ 現役生徒を応援する下記交流事業を実施する。

○ 小田高音楽科が企画する「榿の葉コンサート」を支援する。

○ 助演同窓生出演料補助、記録CD作成を行う。

エ 令和5年度榿友祭(小田高ホームカミングデー)の企画、準備を進める。

(3) 広報委員会

ア 会報「八幡山」34号を12月に発行する。掲載内容は概ねこれまでの会報に準ずる。また、広告掲載の状況を見ながら、会員の情報発信と交流の場に相応しい掲載内容の充実を図る。

イ リニューアルした同窓会ホームページの周知を図るとともに、同窓会活動の周知、参加呼びかけの手段としての活用や、会員及び会員相互の情報発信の場としての利用を一層促進する。

(4) 史料委員会

ア 小田原高校中等教育史料館の公開

○ 企画展は、昨年が閑院宮春仁殿下(中16)ご卒業100年、今年が吉田庫三初代校長没後100年、阿部宗孝第2代目校長退任100年になることから、「ご卒業100年記念 閑院宮が学ばれた小田原中学」を開催し、閑院宮を中心に当時の先生方と生徒たちの活躍、そして御手植え松をはじめとする様々な記念樹を紹介する。

○ ほとんどの保護者が3年間に1度も史料館を見学していないことから、保護者の見学機会を増やすため、夏休みの三者面談期間中に公開する。

○ 公開には、十分な感染対策を講じる。

○ 窓梅会と連携し、史料館定例公開時に窓梅会資料室の同時公開を進める。

○ 校史ガイドの協力促進策を検討する。

イ 史料館の整備

○ 校史展示室中央展示ケース内蛍光灯8本を、紫外線の出ないものに取替える。

○ 放送部作品DVDなどが視聴できるように、校史展示室の閲覧コーナーにポータブルDVDプレーヤーとヘッドホンを常備する。

○ 教材展示室の鉱物・剥製標本展示ケースのガラス棚板に破損があることから、取替える。

○ 教材展示室と図書展示室の窓に遮光フィルムを貼るなどして、紫外線の侵入を防ぐ。

○ 榿友会室の西半分は収蔵庫であることから、西側ドアの上に「収蔵庫」の表示板を設置する。

ウ 史料の保存・活用

○ 大量の未整理史料の整理・保存を進める。

○ 図書展示室の洋装本の目録作成を開始する。

- 生物標本群は、絶滅危惧種等をクリーニング・補修して展示し、明治時代の約 90 点にキャプションをつけ、防虫剤を取替える。
- 小田高名物先生の冊子作成を進める。

エ 記念樹関係

- 「檜林」のシラカシ、中 38 卒業 50 周年記念樹シラカシ、高 22 卒業記念樹シラカシに説明板を設置することについて、学校と協議する。
- 校地東北のクスノキは、平成 15 年に鎌倉の樹木医より県内最大と考えられることから、市か県に申請して記念物の指定を受けるべきとの助言があったことから、学校と協議する。
- 旧正門門柱は、昭和 2 年に落成した第 3 代校舎唯一の歴史的建造物であることから、説明板を設置することについて、学校と協議する。

オ 校史資料研究協議会

展示室運営や史料保存のための活動を行う。

(5) 校歌祭委員会

青春かながわ校歌祭は、第 14 回（台風直撃による中止）、第 15 回及び第 16 回（新型コロナウイルス感染症による中止）と 3 年続けて中止となった。

第 17 回青春かながわ校歌祭は、追浜高校うしお会が実行委員長となり、10 月 15 日（土）によこすか芸術劇場で開催する予定としている。

開催が決定したときは、校歌祭委員会は準備を進め、かながわ校歌振興会の講じる新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を順守し、学校側の理解と協力を得て、出演する。

3 その他

- (1) 同窓会檜友会で実施している「卒業生の活躍」に関連する諸活動の充実を図るため、「卒業生の活躍」リストの掲載基準や掲載するカテゴリについて、再検討を行うとともに、情報収集や情報発信のレベルアップについての検討を進める
- (2) 各種役員に多くの女性が参加するように、引き続き呼びかけを行う。
- (3) 事務局員の複数化に向けた取り組みを引き続き進める。

令和4年度一般会計予算(案)

(単位:円)

項・目	令和4年度予算額	令和3年度予算額	摘 要
前期繰越資金	2,255,609	3,495,264	前年度からの繰越金
収入の部			
1 入会金	1,570,000	1,585,000	
1 新卒者入会金	1,565,000	1,580,000	高校74回卒入会金(313名)
2 中途入会者	5,000	5,000	中途入会者(1名)
2 会費	6,570,000	6,285,000	
1 年会費	3,900,000	3,900,000	年会費(1,300名)
2 終身会費	2,670,000	2,385,000	終身会費(890名分)
3 寄付金	10,000	10,000	寄付金
4 負担金収入	40,000	0	校歌祭参加負担金
5 広告料等収入	250,000	150,000	榎友祭祝金、会報広告掲載料
6 雑収入	24,391	10,736	記念史等販売代、利息
7 繰入金	0	0	
合 計	10,720,000	11,536,000	
支出の部			
1 事務費	1,140,000	1,145,000	
1 事務局費	480,000	480,000	事務局運営経費
2 常任幹事会費	180,000	180,000	常任幹事会開催経費
3 校内幹事費	10,000	10,000	校内幹事会開催経費
4 会員連絡費	20,000	20,000	会員連絡経費
5 渉外費	80,000	80,000	慶弔費
6 消耗備品費	90,000	90,000	事務用品代、消耗品代
7 雑費(振込手数料)	280,000	285,000	年会費等振込手数料
2 事業費	7,220,000	6,891,000	
1 榎友祭・総会費	800,000	800,000	榎友祭・総会開催経費
2 入会記念品費	450,000	420,000	入会記念品代
3 総務委員会費	270,000	413,000	総務関係経費
4 交流委員会費	320,000	320,000	交流事業開催経費
5 広報委員会費	70,000	70,000	会報編集等経費
6 史料委員会費	70,000	70,000	企画展等経費
7 校歌祭委員会費	500,000	60,000	校歌祭参加経費
8 会報発行費	3,700,000	3,700,000	会報印刷・発送経費
9 広報費	270,000	270,000	ホームページ管理費
10 地域職域同窓会費	260,000	258,000	地域職域同窓会参加経費
11 同期会結成補助費	150,000	150,000	同期会結成補助金
12 中等教育史料館費	360,000	360,000	中等教育史料館管理運営経費
3 教育費	600,000	600,000	
1 教育活動費	520,000	520,000	運動部等激励金、教育活動支援費
2 学校援助費	80,000	80,000	ピアノ調律代、小田高祭協賛金
4 積立金	1,460,000	2,600,000	
1 記念事業積立金	200,000	200,000	記念事業積立金
2 予算調整積立金	1,260,000	2,400,000	予算調整積立金
5 予備費	300,000	300,000	
1 予備費	300,000	300,000	予備費
合 計	10,720,000	11,536,000	

令和 4 年度小田原高校同窓会常任幹事会議事録

日時 令和 4 年 4 月 23 日（土） 15:00～16:25
会場 小田原お堀端コンベンションホール

- 1 開 会（15 時 00 分）
司会の山本副会長より開会宣言があった。
- 2 定足数の確認
司会が、常任幹事会構成数 97 人（過半数は 49 人）、構成出席者 25 人（会議出席者は 31 人）、委任状提出構成者 44 人の合計 69 人で定足数に達していることを報告。
- 3 吉川会長挨拶
多数のご参加ありがとうございます。また、同窓会活動へのご協力に感謝します。コロナ禍の中で、常任幹事会が開催できたことに安堵を感じています。
一昨年は、創立百二十周年を迎え、記念事業を計画したもののコロナの影響で、やむを得ずバーチャル式典として同窓会のホームページで公開しました。昨年は、十分な感染対策のもと、学校側の理解を得て、樫友祭などの事業を実施しました。
今年度も、コロナが続いていますが、感染対策をする中で、新しい会員とのネットワークを広げていることを、在校生にも見せながら、皆さんの協力を得て同窓会の事業を進めていきたい。
- 4 中島学校長挨拶
就任 2 年目となり、同窓会からは後輩への様々なご協力をいただき感謝しています。
コロナ禍で、分散登校や時差通学など様々な制限はあるものの、学校行事も縮小しながら実施してきました。学区がなくなり、地元を学ぶきっかけとして地元の方々の協力をいただきながら、「小田原学」を取り入れていきます。
今年度の進学状況ですが、東京大学や中国清華大学のほか国公立大学に 80 人前後、私学にあってもしっかりと健闘しています。引き続き、同窓会の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。
- 5 議長選出
高 33 回河鍋 章氏を選出した。
- 6 議事録署名人選出
高 32 回同期会 玉野真永氏、湯河原地区小田高会 小澤 稔氏（高 16）を選出した。

以下、常任幹事会の次第の順に、議事を進める。

- 7 報告事項
 - (1) 令和 4 年度総会 表彰の実施について
配布資料 1 について、会長が表彰の実施について報告した。

議長が質問等を受けつけるも、質問等の発言はなく、報告事項は終了した。
- 8 議 事
 - (1) 総会付託事項
 - ア 令和 3 年度会務報告(案)、事業報告(案)、一般会計決算(案)、財産台帳について
 - イ 会計監査の結果報告について の 2 件を一括審議

アについて、会長、各委員長、会計より、配布資料2～5をもとに説明した。
イについては、田村会計監査より「4月14日(木)に会計監査を実施した結果、会計処理は適切であったと認める。」との報告があった。

議長が質問等を受けつけるも、質問等の発言はなかった。

【採決】議案は、原案通り承認された。

ウ 令和4年度事業計画(案)及び一般会計予算(案)について
会長及び各委員長より配布資料6を、会計から配布資料7をもとに説明した。

議長が質問等を受けつけるも、質問等の発言はなかった。

【採決】議案は、原案通り承認された。

(2) 総会付議事項

ア 令和5年度総会の開催について

議長から、令和4年5月14日(日)10時～ 小田原高校 視聴覚室で開催するということを報告し、承認された。

本日の協議を受け、5月8日(日)開催の令和4年度同窓会総会に、「(1)の総会付託事項は、常任幹事会の承認事項として報告し、(2)総会付議事項は、総会で審議することとします」と、議長が発言した。

(3) その他

同窓会としてメール等の管理を適切に行っているものの、同窓会を語る不適切なメールが出回っています。何かあったら同窓会へ連絡してくださいと、会長が発言した。

参考資料1及び2について事務局が報告した。

参考資料1に関し、役員の選任について質問があり、役員選考委員会の設置や委員会の報告に基づき、常任幹事会の審議を得て、総会で選任することを説明した。

9 閉会(16時25分)

司会の山本副会長が閉会を宣言した。

令和4年4月23日(土)に開催された、令和4年度小田原高校同窓会常任幹事会の議事内容は、上記の通りであることを確認する。

令和4年4月30日

議長 河鍋 章 ⑩

議事録署名人 玉野 真 永 ⑩

議事録署名人 小澤 稔 ⑩

※ 原本は、事務局で保管しています。

令和3年度「『がんばれ！小田高』応援基金」会計報告

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月31日

収入の部（円）

項 目	金 額	備 考
繰越金	3,916,179	
寄付（個人）	475,000	88名
寄付（団体）	18,500	1団体
横浜銀行預金利子	29	
計	4,409,708	

支出の部（円）

項 目	件数	金 額	備 考
進路指導・進学研究	1	104,000	教員向けセミナー受講料（英語・数学・国語・社会）
勉強合宿・勉強会	0	0	
理科教育	0	0	
学校説明会	0	0	
部活動	0	0	
運営費	46	48,142	礼状用はがき購入 払込用紙印刷代 郵便振替払い込み料金 受払通知票郵送料
その他	1	72,000	英語科海外支援活動送料援助
計	48	224,142	

差引の部（円）	4,409,708	—	224,142	=	4,185,566
---------	-----------	---	---------	---	-----------

運営委員会メンバー（令和4年3月31日現在）

委員長	吉川 伸治	同窓会会長
副委員長	位田 明生	PTA会長
	國分 尚	同窓会副会長
	本多 高弘	同窓会副会長
	剣持 栄	同窓会副会長
	岩本 慎一	同窓会副会長
会計	山本 妙子	同窓会副会長
書記	斉藤由里子	PTA副会長
書記	和田 久美	PTA副会長
書記	生月 英子	PTA副会長
書記	鈴木 春英	PTA副会長